

# 令和3年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工科高等学校

項目担当	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の能力の向上を図る。</li> <li>開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信をより高め生徒募集に繋げる。</li> <li>自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。</li> </ul>	
	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と家庭の連携を深める。</li> <li>式典行事の円滑な運営を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A委員会の活性化を図る。</li> <li>e -メッセージを積極的に活用する。</li> <li>職員間の協力体制を整え、式典行事に取り組む。</li> <li>生徒の相互理解の場として活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、P T A登校指導などを実施した。また、生徒が取り組んでいる「高校生防災セミナー」にP T Aも協賛していただき、文化祭でパネル発表や非常食の配布を実施した。</li> <li>行事の案内など、e -メッセージを活用した。来年度も引き続き積極的に活用したい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症防止対策のため、行事は放送で実施した。オンラインの活用検討にも取り組んだが運用まではできなかった。来年度も引き続き検討したい。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の学力を向上させる。</li> <li>広報活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。</li> <li>授業を大切にする。 (授業規律、成績不振者指導等)</li> <li>中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子について伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を大切にする意識を高め、学力の向上につなげることができた。</li> <li>学習意欲や知識・理解を高めるため、I C Tを積極的に活用していく。</li> <li>追試該当者、追試不合格者に対する指導により一定の成果が得られた。</li> <li>中学校の進路説明会や中学校訪問において本校の情報発信ができた。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。</li> <li>安全・安心な学校生活の実現。</li> <li>いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。</li> <li>薬物乱用防止に向けての啓発活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。</li> <li>講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。</li> <li>生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。</li> <li>情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。</li> <li>薬物についての危険性を周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみの乱れが目立つ生徒が校内では少なくなった。校外でも自覚を持って身だしなみを整えてくれると良い。あいさつをする生徒が増加したが元気づけできるとよい。</li> <li>情報モラル講話、交通安全講話、薬物乱用防止講話など、パンフレットなどを取り寄せ、放送による講話を行った。また、人権講話では、スクールカウンセラーによる講話を行い生徒に良き刺激になった。</li> <li>生活アンケートの実施で、いじめの実態把握に努め、気になる回答をした生徒には担任面談を実施し、重大な事態等につなげることを防ぐことができた。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識の高揚を図る。</li> <li>自分に合った進路選択をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。</li> <li>勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人数が回復したこともあり、校内選考では希望に叶う選択ができた生徒が多かったが、公務員試験を含めて、試験での不合格者がでてしまった。</li> <li>昨年初めて行った企業説明会を、校内と校外で実施できた。企業と直接話す機会を増やすことは、とても有効である。</li> </ul>
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康への意識を高め、感染症予防にも努め、心身ともに健康的な学校生活が送れるようにする。</li> <li>学校生活における不安や悩みの早期発見、解決に努める。</li> <li>日常の清掃に積極的に取り組み、安心安全な学校環境を保つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を高める。</li> <li>こまめな換気、手洗石鹸の補充をし、感染症予防に努める。</li> <li>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかり、情報を共有し問題解決に取り組む。</li> <li>清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化、校内整備に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断、健康観察より生徒の健康状態を把握した。保健講話は熱中症・感染症の予防と対策について実施し、健康への意識を高めることができた。</li> <li>手洗石鹸の補充、換気、マスク着用への声掛けを実施し、感染症予防に努めた。</li> <li>定期的にスクールカウンセラーを活用し、生徒相談に努めることができた。</li> <li>ゴミの分別、ワックス塗りを実施し環境美化に努めることができた。</li> </ul>
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。</li> <li>個人情報漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。</li> <li>ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。</li> <li>「K0-KA-Times」(昨年度までの「K0-GYO-Times」)「半工Girl's」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。</li> <li>セキュリティの向上を行う。</li> <li>令和4年度より新学科が始まるため、新学科のW e bページを開設する。</li> <li>中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にP Rする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館だよりは例年通り発行した。昨年度と比較して利用者が格段に増え、1年生の貸出冊数も増加した。また、テスト期間中に自習部屋として利用する生徒も増加していた。</li> <li>生徒用タブレットP C他、I C T機器の増台により、情報セキュリティだけでなく、I C Tに関わるインフラ整備の必要性があることが分かった。</li> <li>ホームページの継続的な更新を行い、トップページ画像を一部変更、新学科用のページを完成させることができた。</li> <li>中学校訪問時にK0-KA-Timesや半工Girl's ライフを配布した。</li> </ul>

	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の充実を図る。</li> <li>ボランティア活動への積極的参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。</li> <li>半田工科高等学校に適した学校行事を検討する。</li> <li>ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策をし、学校行事を実施することができた。生徒の反応は物足りないようであったが、今できることを執行部の生徒たちと考え、実施できた。</li> <li>スポーツ大会も女子種目としてモルックを行う予定である。</li> <li>半田市のボランティアに5名が参加した。</li> <li>感染状況を考え、クリーン作戦は行わなかった。</li> <li>今後も内容を吟味し、感染状況を考え、生徒たちに募集を呼び掛けていく。</li> </ul>
工務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得に取り組むことで、自ら学ぶ力をつけ、チャレンジ精神を育て、生徒個々の能力向上を図る。</li> <li>積極的に地域イベントに参加して、開かれた学校づくりを推進し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格の情報を正確に素早く提供する。提供する手法としてホームページを活用する。</li> <li>地域連携授業や地域イベントに積極的に参加し、本校の魅力を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格検定の予定を学校行事年間予定表に記入し、ホームページで確認できるようにした。学校で行う検定についてはホームページのお知らせ欄を活用した。来年度はできるだけ多くの資格情報を校内の掲示板を使って発信したい。</li> <li>参加予定の地域イベントは中止となった。研究発表会も中止となったが、各科代表の課題研究発表動画を各科に依頼しホームページにアップする予定である。</li> </ul>
電子機械科・ロボット工学科・機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験をおとて、学習に対する姿勢を育む。また、「安全への意識」、「5S」や「報連相」など工業人としての姿勢や考え方を伝え、理解し実践できるように育成する。</li> <li>新しい学科への学習内容の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。</li> <li>資格・検定に対して計画的に取り組ませる。</li> <li>外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。</li> <li>地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。</li> <li>新しい実習の教育効果があがるように、設備、指導書、実習展開等を検討し、改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実情に合わせた教科指導を実施することができた。今年度は、実習を休む生徒が多く対応に苦慮したが、すべて再実習を行うことができた。</li> <li>技能士（旋盤・製図・シーケンス）の指導に対して、学科全体で指導することができた。</li> <li>クラフトマンⅢ、インターンシップを通して企業との交流、就業体験などの取り組みを維持することができた。工場見学などの実施ができない状況なので、特に2年生に見識を深める機会が必要と感じた。</li> <li>課題研究で作った作品が、公の施設で利用していただけることになり、地域貢献の新しいモデルとすることができた。</li> <li>新しい設備（レーザー加工機、マシニングセンタ）をしっかり配備できている。引き続きこれらの設備が十分活かされる実習を検討し実践したい。</li> </ul>
電気科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。</li> <li>生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃の授業や資格取得のための補習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。</li> <li>レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。</li> <li>ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得や検定試験のための指導を通して、多くの生徒が電気に関する知識と能力を高めることができた。その結果の一つとして、第二種電気工事士試験に多くの生徒が合格することができた。</li> <li>提出物が出ていない生徒を把握して声かけや指導を行った結果、提出期限を守る意味を少しずつ理解し、改善の傾向が見られた。</li> <li>中学生体験入学で、生徒が本校の説明を行うことで、情報発信すると同時に、生徒のコミュニケーション能力も向上させることができた。</li> <li>総合競技大会入賞や資格取得の情報を学校ホームページを通じて情報発信した。</li> </ul>
建築科・建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> <li>「衣・食・住」という私たちの生活の根幹をなす建築学と、デザインを学ぶことの大切さと楽しさを伝える。</li> <li>専門教科の基礎的能力を向上させ、社会とのつながりを伝え、応用力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒には、建築は私たちの生活を守り、優れたデザインは生活を豊かにしていることが伝わるような言葉や記事、映像を授業の中に取り入れる。</li> <li>中学生や保護者には、体験入学やホームページをおとて建築デザイン科で学ぶことの大切さと楽しさが伝わるよう発信する。</li> <li>製図は、手描きの技法を指導し、その発展形としてCADを指導する。</li> <li>木構造は、手刻みの木材加工の技法を指導し、発展形としてプレカットや2×4があることを指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の耐震基準、ハザードマップ、火災から身を守る方法など、安全に暮らすための知識をパネルにして展示した。優れたデザインの家具を借りて展示し、在校生の興味や関心を高めることができた。</li> <li>体験入学では、在校生が、中学生と保護者に対して建築とデザインを学ぶことの楽しさと大切さを伝えることができた。集計したアンケートでは「建築デザイン科に興味を持った」という記載が多かった。</li> <li>二級建築士試験には手描き製図があることから、手描きの必要性を伝え、3年生で建築士試験の過去問題を練習した。CAD製図では職員の指導のもと、全国コンクールで3名入賞した。</li> <li>SDGs、ウッドショックという社会情勢と、林業の現状と大切さを伝え、使用した木材の再利用にも取り組んだ。</li> <li>学科名の変更に伴い、職員の協力のもと、今年度より新たに取り組んだことも多くあった。次年度はさらに工夫と改善を試みて、「半田工科高校の建築デザイン科で学びたい」という中学生が増え、在校生もさらに興味と関心が高まるように取り組む。</li> </ul>

	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
土木科・都市工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の向上を図り、社会に必要なとされる知識・教養の習得を目指す。</li> <li>細かな生活指導を大切にし、基本的な生活習慣を育む。</li> <li>地域社会との繋がりを考え、学外への情報発信もできるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の内容を基本とし、さらに就業後必要となる国家資格試験の内容も教科指導に取り入れる。資格の重要性を生徒へ伝えることにより、学習意欲を向上させる。</li> <li>日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉使いを伝え、社会人としての心構えを身につけさせる。</li> <li>地元企業との繋がりを大切にし、外部講師という形で出前授業等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の授業に、資格試験の内容も加えることにより、学習意欲は向上したと感じている。国家資格においても複数名の合格者を輩出することができた。</li> <li>言葉遣いに関しては、多くの生徒が敬語を使うことができています。生活習慣について少し乱れる生徒もいたので、将来社会に出ることを意識付けさせていきたい。</li> <li>地元企業に出前授業、現場見学会を依頼することができた。コロナ禍により、出前授業は急遽中止することとなったが、次年度、実施できるよう繋がりを大切にしていきたい。</li> </ul>
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態を把握しながら規律を身につけさせる。</li> <li>資格取得の励行。</li> <li>学科選択の適正化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの活動における声かけや、コミュニケーションを取りやすい関係を作りながら指導する。</li> <li>授業や補習を通して自学自習のできるように指導する。</li> <li>実習・座学を通して工業教育へ興味関心を高め、個々の能力にあった学科選択を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して荷物の持ち帰り指導と身だしなみ指導に注力し、規律を守ることの大切さを身につけさせることができた。</li> <li>資格取得を見据えた授業展開や、自学自習用のプリントを配布するなど、積極的に資格取得に取り組む環境を提供した。</li> <li>生徒へのきめ細かな指導や面談により、それぞれの適正にあった学科選択を滞りなく行うことができた。</li> </ul>
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考え、主体的に行動する力を身につけさせる。</li> <li>進路に対する意識の高揚を図り、具体的な目標を明確化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年会や関係分掌との連携を図り、学校生活のあらゆる場面できめ細かい指導をする。またその際、生徒に指示するだけでなく、疑問を投げかけ、自分のやるべきことをイメージさせることによって自ら考える力を養う。</li> <li>HRやLT活動などを活用して、自己分析の支援や自己発見の援助をする。また、進路指導部と連携を図り、ガイダンスを充実させ、職業や学問に対する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年全体として、学期ごとの各ポイントとなる場面で、学年集会を実施した。また、各担任が関係分掌などに対して報告、連絡、相談を密にしながら連携して生徒の指導をした。</li> <li>2学期に進路講話、3学期には進路ガイダンスを実施した。また、3月にも企業別ガイダンスを実施する予定である。様々なガイダンス等を実施することにより、進路に対する考えを深めるきっかけづくりができた。</li> </ul>
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の能力や適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるように指導する。</li> <li>社会人としてのモラルやマナーをしっかりと身につけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRやLT活動、個人面談を通して、生徒の進路希望について十分に理解する。また、引き続き進路指導部と連携をはかり、職業講話の充実や企業展への参加を積極的に促す。</li> <li>日常生活に対する指導を通して、社会人として必要なモラルやマナーを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部と一体となり、企業説明会の参加や作文添削の機会などを設け、就職試験に向けて意識づけすることができた。また、生徒、保護者の希望を面談を通して把握し、多くの生徒が希望した進路を選択することができた。</li> <li>毎日の指導を粘り強く行うことで、社会人として必要なモラルやマナーが身につけてきた。今年度はコロナウイルス感染症の影響もあり、租税教室や保険講話等を外部講師を招いて実施できなかったため、来年度に向けて実施方法を検討する必要がある。</li> </ul>
	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止等により実施できなかった目標もあったが、アンケート結果は、概ね良好であった。また、昨年に引き続きコロナ禍であったこともあり、毎日の健康観察や手洗い、換気、消毒など心がけ生徒自身の健康への意識を高めることができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、昨年に引き続き学校行事や部活動の公式試合など延期や規模の縮小、中止となり生徒の活躍の場が少なくなってしまった。また、感染拡大防止のため保護者等への参観等できなかったことを踏まえ感染状況や防止対策を考え安心して安全に参観できる場を考える必要がある。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年延期となった修学旅行も2回の延期の末、3年生で実施することができた。今年度も2年生が延期となっていることから日程等を考慮しつつ実施していきたい。</li> <li>今年度の求人状況は、新型コロナウイルス感染症以前の状況に回復しつつあり、希望する企業に選択できた生徒が多かったが、景気に左右されない求人が得られるように、人材育成を目指し生徒に一層の力をつけさせたい。</li> </ul>	